

授業科目名	地域文化論	科目コード	G1202P03
英文名	Regional Culture		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	木本 秀樹
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「地域」概念の変化とともに1980年代、「地域史研究」の理念が登場する。その後、大規模災害や各分野での流動化現象により、地域社会の継続性の困難さも指摘されてきた。こうした中で地域文化における技術・技能伝承、記録・記憶の不連続性や継承力の低下がさげばれながら、今世紀に入りこれらを克服しようとする新たな動向もうかがわれる。ローカルとは地域に籠もることではなく、「地域」という窓から日本や北東アジアなどを見る視点として位置づけ、地域に生きることの肯定感や地域社会を変えていく担い手育成の役割にも注視していく。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	地域史研究	地域文化遺産	生活文化	継承力	地域知
-------	-------	--------	------	-----	-----

到達目標	<p>：文化構造には、基層文化（ex.生活文化）のもとに表層文化（ex.芸術文化）があり、地域文化のもつ相互扶助の理念や多様性など様々な性格や形態、実情ついて理解を深めることができる。（60％）</p>				
	<p>：地域文化のあり方がこれからの地域力創造や地方再生の担い手となり、地域住民が「よりよい生活」を志向していく手段となり得ることを理解することができる。（20％）</p>				
	<p>：社会全体に進行する「ネットワーク型ヨコ社会」や生活単位の基本となる「21世紀家族」の構成、地域住民間における自己存在感と他者理解の均衡など、共存・共生のあり方や課題解決に向けた取り組みについて、地域文化論の立場から志向することができる。（20％）</p>				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本授業科目計画ガイダンス 「地域」・「文化」とは 本授業科目がめざす目的や実施計画、学修上の留意事項などを説明します。次いで、「地域」や「文化」を考える上での基本的な視点や参考文献を提示するとともに、学生自身の出身地や居住する身近な地域の文化のあり方を振り返ります。	
	【予習】出身地や居住する地域の地形・産業などの特色を踏まえるとともに、その地に根ざしてきた芸能や年中行事、現在も行われている特徴的なイベントなどをわかる範囲であげる。第1回授業のおり、そのレポートを書いて提出する。(第1回授業以降の予習のあり方は、随時各回授業時において説明する)	60分
	【復習】	
第2回	「地域」・「文化」とは 「地域」・「文化」概念について歴史学、民俗学、文化人類学などの学際的視点から解説します。また、「地域」や「文化」が時間的な経過と空間的な広がりから多様に構成されて今日に至っていること、さらに重層的に解釈できることなどを概観します。	
	【予習】	
	【復習】「地域」・「文化」のもつ多様性や多角的な視野からの観点を整理する。「地域」・「文化」に関して自分の興味関心となる視点を見出すことができるよう、毎回の授業内容を見直すことに努める。(第2回授業以降の復習のあり方は、随時各回授業時において説明する)	30分
第3回	富山県の歴史と文化 ガイダンス：富山県の歴史と文化を考える上での視点や時代区分、地域区分、歴史文化構造など、基本的な内容を解説します。この解説を通して富山県のみならず地域社会にみる時間軸と空間軸、文化層などの類型を考える手立てとします。	
	【予習】小学生から高校生に至る中で学んできた地域に関わる学習内容のうち、もっとも印象に残った事柄とその理由を事前に把握し、第3回授業においてレポートを提出する。	60分
	【復習】	
第4回	富山県の歴史と文化 前近代 大伴家持と『万葉集』：越中国司として赴任した大伴家持の事績や編纂事業に大きな役割を果たした『万葉集』にみる越中国の自然観や社会の様子、人々との関わりなどについて解説し、全国的にも特色ある地域文化の一端に触れる機会とします。	
	【予習】第4・5・6回授業のテーマから興味関心をもった事柄の一つ調べてまとめ、レポートを提出する。(提出期日は後に知らせる)	120分
	【復習】	
第5回	富山県の歴史と文化 前近代 越中国と古代の社会：北陸道諸国に位置する越中国の産業や信仰、制度、交通など、文化を生み出す基盤となった当時の社会構造や特色ある社会生活の様子を紹介し、さらに、この時代に展開された越中国と北東アジア社会との関わりについても解説します。	
	【予習】(第4回-予習内容と同様)	
	【復習】	
第6回	富山県の歴史と文化 前近代 立山と立山信仰史：奈良時代から歴史の舞台に登場する立山、平安時代から信仰の山として広まり、のちに全国的に布教を展開した立山信仰史にみる実態や世界観、特色などを解説します。また、全国の山岳信仰との関わりやネットワークについても紹介し、	
	【予習】(第4回-予習内容と同様)	
	【復習】	
第7回	「山」・「川」・「海」の文化と思想 自然地形にはそれに関わってきた集団の営みや文化が内在するとともに、その根底に息づいてきたものに日本のみならず、東アジアにおける思想的背景が存在することを解説します。中でも、これらが日本における精神文化の基調にあることにも触れていきます。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	地域社会と文化遺産 富山県に現存する伝統芸能(「とやまの曳山(ひきやま)」)の映像を視聴して今日の文化遺産とは何か解説するとともに、それらのもつ文化的価値や現状について紹介します。これらを踏まえて、自分の身近な地域に存在する芸能やその保存に関わる考え方に迫ります。	
	【予習】第13回授業では、地域博物館・資料館について学修する。そこで富山県内の地域博物館・資料館などを紹介し、その中から1館を選択して事前に観覧する。観覧は「地域」や「文化」といった観点を中心にして、第13回授業においてレポートを書いてもらう。(詳細は授業時に説明する)	120分
	【復習】	
第9回	地域社会と文化遺産 現代に生きる伝統芸能とそれを取り巻く今日的課題は、数々存在します。これらを踏まえて世界遺産、日本遺産をはじめとする国内外の遺産登録の現状とその背景を考えます。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	生活文化とは 日本の風土に根ざしてきた生活文化とは何か、その内容と視点を解説します。実例として、戦後（1945年～）から今日に至る日本の生活様式の変遷について取り上げ、生活文化という概念が登場するに至った背景を考えます。	
	【予習】第11回授業時に解説する年中行事の中で、出身地や居住地域で現在行われている（過去に行われていた）ものがあればその内容を記録し、次回の授業時に口頭発表してもらう。	30分
	【復習】	
第11回	生活文化とは 日本の風土と生活習慣を背景に、今日まで培われてきた太陰暦（旧暦）1年間の生活暦や年中行事について解説します。この背景には日本のみならず、東アジア社会の思想が色濃く反映するとともに、現代においても姿形を変えて息づいていることを考えます。	
	【予習】自宅の正月の雑煮の内容を確認して、第11回授業時にレポートを提出する。（地域的特色や違いをとらえる）	30分
	【復習】	
第12回	「郷土史」から「地方史」、そして「地域史」へ 地域の歴史は、明治・大正期から昭和前期（～1945年）まで「郷土史」とよばれ、その後、「地方史」、1980年代からは「地域史」として今日に至ります。これが単なる名称の変化だけではなく、「郷土」の歴史研究や「地域」概念の変遷に基づくことを考えます。	
	【予習】	
	【復習】これまで学んできた歴史教科と本授業科目での「地域史」との相違する視点は何か、自分の考えをまとめておく。	60分
第13回	地域歴史遺産と生涯学習社会 地域社会の様々な歴史資料（史）料の存在、その保存や活用に向けた取り組みについて解説します。さらに地域博物館・資料館、自治体史編纂、市民講座など、地域社会と地域文化をつなぐコーディネーターとしての役割や機能についても考えます。	
	【予習】第15回授業・総括と発表に向けて準備する。（発表内容や方法、機器の使用などについては、授業時において適宜指導する）	120分
	【復習】	
第14回	地域学と地域文化 地域学や地域づくり、地域学習の視点を提示してその背景について説明するとともに、近未来の地域社会の担い手育成に向けた方向性についても解説します。さらに、地域文化の継承・発展をこれからの市民的教養として捉えていく姿勢も考えます。	
	【予習】（第13回-予習内容と同様）	
	【復習】	
第15回	総括と発表 - アクティブ・ラーニング 地域文化の継承と発展を図る上で求められる資質や能力、地域づくりと地域文化との関わり、伝統文化の保存と地域開発との整合性など、各授業時において示したテーマの中から関心をもったものを選択して発表してもらいます。	
	【予習】	
	【復習】これまでの学修内容を適切にまとめ、地域文化の振興を図る上で課題解決に臨む姿勢をもつことができるよう復習に努める。	120分
第16回	前期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 及び では授業中に指定する課題レポート、口頭発表、受講態度を中心に評価する。(40%)</p> <p>到達目標 及び では、前期末筆記試験で評価する。(60%)          なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	毎授業時、関係資料や記事、データ、映像などの教材を提示する。	使用資料 <参考図書>	・『富山県史』各巻、市町村史、地域史研究書をはじめ、テーマに応じた引用文献や
授業外学修等	学生個人による第8回-予習で挙げた地域博物館・資料館の観覧及びレポート提出。		
授業外質問方法	授業前後における理解度の確認。学生との時間調整による面談などによる対応。(授業時において事前説明する)		
オフィス・アワー	金曜日2時限 非常勤講師控室。(事前確認のうえで水曜日2時限)学生との時間調整による面談などによる対応。(授業時において事前説明する)		